

学校生活における新型コロナウイルス感染防止について

R2.6.24(水)

校長 佐久間章匡

芝中学校のみなさん、こんにちは。(校長の佐久間です。)

6月1日(月)から学校が再開し、分散登校で2週間を過ごし、通常登校となって2週目に入りました。様々な制限がある中ですが、6月15日(月)からは部活動も再開され、通常の学校生活が戻りつつあります。

しかし、6月21、22日には川口市内で感染者出たこと、23日には千葉県の小中学生が感染して学校が再び臨時休校になったこと、有名なスポーツ選手が感染したことなどのニュースから、新型コロナウイルスは私たちの身の回りに確実に存在していることをあらためて思い知らされます。

今、みんなの気持ちの中に「自分は感染しないだろう」「マスクをつけているから大丈夫だろう」といった気の緩みはありませんか？意識が低くなっていませんか？残念ながら目に見えないウィルスはあなたの身近なところに存在しています。

是非、この放送を聞いて最近の自分の行動を振り返ってみてください。

「登下校」「授業」「給食」「休み時間」「清掃」「部活動」「生徒会・委員会活動」において

- ・ソーシャルディスタンスを保っていますか？
- ・不要な接触をしていませんか？
- ・換気をしていますか？
- ・近距離かつ向かい合わせで会話をしていませんか？

学校はみんなが下校した後に先生方が消毒をしてくれています。時にはフェイスシールドを着用して授業をしています。あとは君たちの行動にかかっています。

もう一度、自分自身ができること、すべきことを考えてみてください。一人一人の高い意識と実践力が一番の感染予防策です。みんなで協力し、「剛毅不屈」の精神で学校生活を安全で安心できるものにしましょう。

以上